

単施設研究用

「研究課題名：人工膵臓を用いた心臓血管外科の周術期血糖管理の有効性と安全性」に関する情報公開

1. 研究の対象

2018年4月1日～2020年9月30日に当院で心臓血管外科手術を受けられた方

2. 研究目的・方法・研究期間

手術後の血糖値管理は術後の予後（合併症）に影響を及ぼす重要な因子です。高血糖は免疫機能の低下や炎症の悪化を招くために、傷の治癒遅れや感染、腎臓の機能低下などの危険性が増えます。また、高血糖に対する従来の点滴によるインスリンを使用した血糖管理は低血糖のリスクを伴います。本邦で開発され、医療機器承認をえている人工膵臓

（STG-55）は自動的に血糖値を測定してインスリン治療を行う装置です。当院では、2019年10月から心臓血管外科術後に人工膵臓を用いた血糖値の管理を行っています。本研究では特に合併症の多いとされる心臓血管外科手術を受けられた患者さんに使用された人工膵臓の安全性および有用性を電子カルテの情報を用いて人工膵臓の有用性および安全性を評価します。研究期間は2022年12月31日までを予定しています。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：人工膵臓の使用状況（インスリン使用量や血糖値）、血液検査での血糖値、
低血糖・高血糖イベント、入院中の炎症反応（CRP）、腎機能（クレアチニン
値・eGFR）、人工呼吸時間、術後感染の有無
年齢・性別・身長・体重・糖尿病の有無と術前HbA1c・手術内容・手術時間 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

住所：名古屋市昭和区鶴舞町 65 電話：052-744-2340

担当者：名古屋大学医学部附属病院 麻酔科 藤井祐

研究責任者：

名古屋大学大学院医学系研究科 麻酔蘇生医学 西脇公俊